

平成 28 年 12 月 19 日 (月)

理数科・学究科講演会—東京工業大学地球生命研究所—



本年度は2年理数科の課題研究の一環として東京工業大学と連携して、八方尾根周辺等で実際に実験・分析のための試料のサンプリングをしたり、東京工業大学に出向いて課題研究を進めています。12月19日(月)2,3時限目には、東京工業大学地球生命研究所のお2人の先生による1年学究科生・2年理数科生対象の講演会を行いました。黒川顕博士(東京工業大学地球生命研究所副所長、国立遺伝学研究所教授)による「白馬八方温泉～ゲノム科学～生命の起源」の講演会は、第3ゼミ室で1年学究科生を対象とし、佐野友彦博士(東京工業大学地球生命研究所研究員)による「大町・白馬の地質」の講演会を、第1ゼミ室で1年学究科生対象に行いました。微生物ゲノム解析、地球上の微生物をターゲットとして、ゲノム・メタゲノム情報を核としてバイオインフォマティクスを駆使し解析することで、これまで何ら明らかになっていなかった環境中の微生物に対する新たな生物学知見を見出す等の専門分野の話から、これまでの経緯・高校時代の様子、人や自分の好きなこととの出会いの数々により現在の自分があること、進路選択のきっかけなど幅広くお話していただきました。本格的な冬の訪れを感じさせる1日でしたが、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。両先生から講演の最後に「努力は報われる。やり抜く力、多様な経験、自らの頭で考える等が必要である。」と熱いエールをいただきました。講演会終了後、次年度の課題研究のテーマについての打合せを行いました。

